

国土交通大臣賞 <small>「事業所・地方公共団体等」分野</small>	受賞者名 株式会社竹中工務店 東京本店 住友不動産金町 I 街区作業所
	所在地 東京都葛飾区
	受賞テーマ 活動推進のための 3 R 教育の実施による、優先度が高い「リデュース」「リユース」も含めた質の高いトータル 3 R 活動の実践

受賞者が行なった大規模な集合住宅の建設工事は、工事に伴い発生する端材等の廃棄物が他の種類の建物と比較して多く発生すると言われている。そのため、発生した大量の廃棄物をいかに再資源化し、最終処分量を削減するかは重要な課題であると考えた。

そこでまず、受賞者は新たな視点での取り組みとして、本来優先度が高いがなかなか建設現場での取り組みが難しい「リデュース」「リユース」活動にあえてチャレンジし、バランスのとれた質の高い 3 R 活動を目指した。「リサイクル」についても、掃きごみをふるいで徹底的に分別することや、分別ミス無くするために分別看板を写真入りにする等の工夫を施し、今までよりレベルの高い「リサイクル」活動を徹底して行い、全体的に質の向上を目指した 3 R 活動を実践した。

これらの 3 R 活動は正しい知識と、確実に実践するという堅い意識を、作業所の全員が持つことが重要である。また、この 3 R 活動は、管理する受賞者（排出事業者）と、実際に分別等活動する作業員、搬出後に処理する中間処理業者が三位一体となって協力し合うことで、より質の高い 3 R 活動につながる。そこで、三者のそれぞれの立場・特性から検討した「分別ツールの製作・活用」や、「三者合同の分別パトロール」およびパトロールに基づいた「分別教育」の実施の徹底など 3 R 教育に力を入れ、3 R 活動の基盤づくりを建設工事の作業工程において職種が増えるたびにこまめに行った。

さらに、これらの活動を他支店でも展開する為、他支店の環境担当者に対し現地で説明会を開催したり、高専学生を招待し、将来、自分たちの仕事の中で 3 R 活動が自然にできるように、3 R 活動事例の紹介を作業所見学会で行って人材育成を図ったり、また TV 出演してリユースの重要性を解説するなど、建設現場という特殊な場での 3 R 活動をとらして環境意識の醸成と社会貢献を行った。

【分別手帳の配布】

分別ルールや写真付きの分別表を記載したポケットサイズの手帳を作成し、職長・職員全員に配布し、分別への意識を促すとともに、分別方法が分からない作業員への教材としても活用した。作業員からもよくわかると好評を得た。

